

【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

活動日時	2025年5月15日（木）
クラス	0歳児 りすぐみ

① 年間テーマ	自然
---------	----

② 活動内容（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・4月当初より慣れてきた様子なので近くのお山の公園で日向ぼっこをしてみる。 ・春ならではの草花に触れ、五感で季節を感じてみる。
-------------	--

子どもの姿

春の日差しをござの上で受け、くつろいでいる。葉っぱの揺れに興味を示し触ったり眺めたりする。あんよが出来る児は、靴下で踏みしめる葉っぱの音と感触を感じる。

③ 環境のデザイン	<p>ござ・戸外遊び用おもちゃ・救急用品・ビニール袋 ※土や葉っぱなどに触れるので手拭きを用意する。帰園後の着替えの用意もしておく。</p>
-----------	---

④ 活動実践	<ul style="list-style-type: none"> ・4人乗りバギーやワゴンで移動、芝生や草花が多いところを選んでござを敷きその上で過ごす ・子どもの目に留まったものを大人は言葉にしなが見守る ・ござから出てしまう子やあんよの子に大人がついて行き、一緒に動きをする
--------	--

子どもの言葉・姿・保育者とのかかわり等

【ござで過ごす】

ゆったりしていたが土が気になり土を掘り始める。「アリさんでもいたかな？」と話しかけるが夢中でホシホシしたり、ザラザラとまき散らしたりしている。

【靴下でおさんぽ】

あんよが出来る児は、芝生のお山を登ったり下りたり…。おととと～となりながらも大人の「おいで～」の言葉に反応し草の感触を感じながらうれしそうにあるいている。

【花を見つける】

一点をじーっと見つめる子がいたので、大人が「なにかみつけたの？」と言葉がけをする。するとシロツメクサを指さしニコリ！目の前の花を摘み、「どうぞ」と渡すと、不思議そうに見たり鼻に近づけたり指先でつまんでみたり興味津々な様子が見られる。

【葉っぱの感触・・・】

ござからハイハイで出た子は、芝生を行ったり来たりする。大人のそばに来ると「ちくちくするよ～」と訴えた様子で、乾いた葉っぱが付いた手を見せてくる。葉っぱを払ってあげるとまた芝生に戻りハイハイをし…を繰り返す。



⑤ 振り返り（保育者の気づき）	<p>段々と保育園生活に慣れてきた頃なので、大人の膝や抱っこから離れ、自由に散策出来る子が増えてくる。大人は、見守ったり共感したり時には気持ちを汲み取って代弁しながら安全面に気を配っている。大人が見逃しがちな土の色や感触の違いを感じ取り、思い思いに自然に触れていたため、慣れてきたらほかの公園にも足を運び、いろいろな経験をさせてあげたい。</p>
-----------------	---